まつえ 市議会だより

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER

No. 63
2025
1月臨時会・2月定例会

1月臨時会、2月定例会 令和７年度当初予算などについて審議 P2～5
2月定例会一般質問 24人の議員が質問 P8～13
特別委員会報告 宍道湖・中海問題等対策特別委員会など４つの特別委員会を開催 P14

（シリーズ）
松江の元気な子どもたち㉜

「雨降り散歩で みぃつけた！」
－城西幼保園－
雨の日が大好きなカタツムリさんとの、雨の日だからこその出会いでした。 〈取材：錦織委員、山根委員〉

第63号 発行日：令和７年６月１日 発行：松江市議会 編集：議会広報等委員会

1月臨時会
令和7年1月27日

物価高騰対策として7億9,120万円（令和6年度松江市一般会計補正予算 第9号）を決定

1月の臨時会では、物価高騰対策としての市民生活支援のための補正予算を可決しました。

内　容

・住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円を給付
・当該世帯の世帯員である18歳以下のこども1人当たり2万円を給付

令和6年度 補正予算第9号
（松江市ホームページへ）

2月定例会
令和7年2月25日～3月19日

物価高騰対策、子ども医療費助成、高齢者帯状疱疹予防ワクチン接種等予防接種、観光振興、脱炭素先行地域推進事業などを審議

2月定例会は、市長提出議案74件を審議し、すべて原案どおり可決・同意（全会一致60件・賛成多数14件）しました。また、諮問1件、議員提出議案3件について審議・議決（可決3件、否決1件）しました。

一般質問には24人の議員が立ち、新年度事業・予算、地域交通の維持と取り組み、こども・子育て政策、再生可能エネルギー、教育・学校トイレの洋式化、観光振興などについて市長や執行部の見解を問いました。

令和6年度松江市一般会計補正予算（第10号）　37億1,390万円増

1、国の補正予算に呼応した予算
（揖屋小学校・松江魚市場整備、交通安全対策事業など）　22億9,859万円
2、災害復旧
（災害復旧にかかる事業）　1億1,505万円
3、その他
（職員退職金積立基金の積立て、減債基金の積立てなど）　13億26万円

令和7年度 一般会計予算　1,129億9,000万円

国の総合経済対策に呼応した物価高騰対策を実施するとともに、松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」の「5つの柱」に沿った施策に重点的に配分しています。令和7年度は、扶助費、物件費、普通建設事業費などが増加要因となり、過去最大の当初予算となりました。

審議した議案等

市長提出案件		74件
内訳	条例案件	28件
	一般案件	22件
	予算案件	23件
	同意案件	1件
議員提出案件		3件
諮問		1件
陳情		2件
合計		80件

令和6年度
補正予算第10号

令和7年度
当初予算概要

松江市総合計画
（松江市ホームページへ）

条例の改正（主なもの）

松江市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

松江市特別職報酬等審議会の答申に基づき、市議会議員の議員報酬を改定するもの。

松江市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令」の改正に伴い、非常勤消防団員に支給する退職報償金の区分を追加するもの。

松江市ふるさとづくり寄附条例の一部改正について

市内の企業及び企業版ふるさと納税の制度を適用しない市外の企業からの寄附金を受領し、また、基金に積み立てることができるよう、所要の改正を行うもの。

議員提出案件の審査結果

件名		結果
議員提出議案 第1号	松江市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第2号	地方自治法施行令に定める少額随意契約の限度額の見直しを求める意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第3号	高額療養費の自己負担引き上げ撤回を求める意見書について	否決（賛成少数）

常任委員会報告〈主な審査内容（質問に対する市の答えを掲載しています。）〉

総務委員会 … 議案24件「原案可決」、陳情2件「不採択」　（3/10、3/19開催）

松江市選挙公報の発行に関する条例の一部改正について

●郵送料のほか、封入の人件費や封筒代などで約1,100万円かかる見込みであったものが、新聞折込にすると約300万円になり、職員の作業も簡略化される。

松江市新庁舎建設（建築主体・電気設備・機械設備）工事の請負変更契約締結について

●国土交通省の発表によると、令和2年の工事着手時と、最新の令和6年12月末を比べると20%余り価格が上昇しており、今後も資材価格や労務費は上昇していくと想定して、動向を注視していきたい。

教育民生委員会 … 議案17件「原案可決」　（3/10、3/11、3/19開催）

松江市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について

●使用料について他の医療機関と比較・検討を行い、患者負担等を考え、近隣の急性期病院と差がない改定内容にした。また、値上げについては新築移転からこれまで物価変動等あったが、一度も改定ができておらず、急激な物価高騰等を受け、応分の負担をいただくよう改定した。

財産の無償譲渡（旧松江市八束保健福祉総合センター）について

●市で建物を解体すると仮定した場合の費用は約2億9千万円で、土地の評価額については隣接する標準宅地の評価額から更地価格を試算し、約9千万円と見込んでいる。

経済委員会 … 議案8件「原案可決」　（3/12、3/13開催）

松江市ふるさとづくり寄附条例の一部改正について

●ふるさとづくり寄附条例で掲げている寄附の使途は、市が行っている事業全般を網羅する内容になっている。条例改正をすることで、企業の意向に沿った内容で寄附を受け入れ、寄附を受けた年度の事業の財源に活用したり、基金に積み立てることで翌年度以降の事業の財源に活用できるようになる。

建設環境委員会 … 議案9件「原案可決」　（3/11現地視察、3/12、3/13委員会開催）

松江市手数料徴収条例の一部改正について

※建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づき、令和7年4月から、これまで除外されていた小規模住宅なども建築確認申請が必要となったことに伴い手数料の新設および改定を行うもの

●令和4年の改正法公布から国土交通省、島根県、建築士会での講習会、市の窓口でのチラシ配布、都市計画区域外の市民への回覧板等で改正内容を周知している。

【現地視察】
市道八幡大井線中海大橋補修耐震化工事を視察

松江市普通公園条例の一部改正について

●新しくできたステラビレッジ朝酌公園は市で管理をしているが、今後、団地の住民に自治会をつくってもらい、一緒に管理していくことが理想だと考えている。地域で公園愛護活動について説明していきたい。

市道八幡大井線中海大橋補修耐震化工事（第2期）の請負契約締結について

●工期は令和6年度から令和14年度まで予定しており、総事業費は現時点で約40億円の予定である。令和6年度から本格的に工事を行い、歩道と車道の舗装更新や橋脚の表面防水工事が今年1月に完了した。今後は各橋脚の補強工事を進めていく。

予算委員会（3/7・3/17）

令和７年度当初予算等を審査（一般会計、特別会計、公営企業会計）
物価高騰対策、子ども医療費助成の充実（高校生年代まで）などの予算を審議

予算委員会では、令和７年度当初予算案14件と令和６年度一般会計補正予算案１件を審査し、全ての議案を「原案可決（全会一致８件、賛成多数７件）」すべきものと決しました。

総括質疑の主なもの

《一般会計》

（質）人件費について

（答）本市は、地理的条件や行政需要などから、人口１万人当たりの職員数が中核市の中で最も多いが、引き続き公共施設の適正化やDXの推進による業務の効率化に取り組むとともに、庁内事務センターの新設など、新たな取り組みにより、将来的には会計年度任用職員の計画的な合理化につなげていきたい。

（質）公共交通について

（答）今年度、公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチームを立ち上げ、人材確保対策や利用促進策の実施、また、一畑バス、交通局による共同経営計画にかかる連携協定締結などに取り組んできた。
令和７年度は、松江市地域公共交通計画の実施計画に当たる地域公共交通利便増進実施計画を、国土交通省の補助メニューを活用し策定する予定である。

《水道事業会計、下水道事業会計》

（質）老朽管や管渠の更新費用について

（答）水道事業においては、老朽管の更新費用として約６億6,000万円を計上している。漏水が多発している区域や重要施設につながる配水管の耐震化を優先的に進めることとし、経営計画に基づき年次的に更新を行っている。
下水道事業においては、管渠の更生などに約３億3,000万円を計上している。令和６年度から10年度を計画期間とする更新計画を策定し、計画的に更新を行っている。

議案審査（主な意見）

《一般会計》

令和６年度補正予算（第10号）　［賛成多数］
令和７年度予算　［賛成多数］

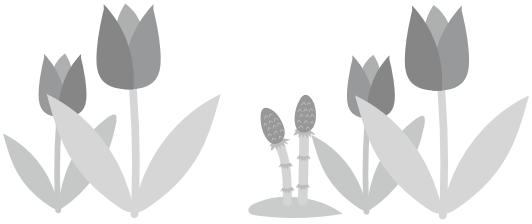
○国に呼応した物価高騰対策などの実施や、松江市総合計画の５つの柱に沿った根幹的な施策も計上されていることから賛成する。
○約1,129億9,000万円と、過去最高額の当初予算となったが、これは国の地方創生や防災・減災、国土強靱化など、喫緊の課題に対応するものに加え、人件費の改定や扶助費への対応、エネルギー価格や物価高騰による物件費、建設投資などの伸びによるものであり、賛成する。
○全国で無償化が進んでいる給食費を値上げする予算であること、学力調査について、県が中止したにもかかわらず、松江市独自の学力調査を続ける予算であること、物価高騰対策が市民や中小企業の事業者、農・漁業者に対して不十分であること、マイナンバー推進の予算であることから反対する。

《特別会計》

・国民健康保険事業	［賛成多数］
・宍道国民健康保険診療施設事業	［全会一致］
・後期高齢者医療保険事業	［賛成多数］
・介護保険事業	［賛成多数］
・企業団地事業	［全会一致］
・公園墓地事業	［全会一致］
・鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区	［全会一致］
・母子父子寡婦福祉資金貸付事業	［全会一致］

《公営企業会計》

・水道事業	［賛成多数］
・下水道事業	［全会一致］
・ガス事業	［全会一致］
・交通事業	［全会一致］
・病院事業	［賛成多数］



予算委員会各分科会での質疑（主なもの）

総務分科会（3/10・3/11）

《一般会計補正》

●質疑のあった項目	①旧八雲支所・旧公民館等解体事業の補正について　ほか
●執行部の答弁	①支所分として7,302万2,000円が減額となった。このうち、委託料917万7,000円は工損調査が不要となったため、全て減額となった。

《一般会計》

●質疑のあった項目	①長時間に及ぶ時間外勤務の状況と対策について ②行政手続のオンライン手続の拡充　ほか
●執行部の答弁	①人事課、秘書課、国際観光課の職員３名の時間外勤務が、令和７年２月末時点で1,000時間を超えているが、いずれの職員も産業医との面談や保健師による健康状態の確認などにより、心身のケアを行っている。 ②オンライン手続はしまね電子申請サービスや国のぴったりサービスを使って随時増やしていくところで、相談や申請件数の多いものを優先的にオンライン化しようとしている。従来の紙やメールでの申請も残すことから、手続の選択肢を増やす形で進めて行く。

教育民生分科会（3/10・3/11）

《一般会計補正》

●質疑のあった項目	①トイレの改修事業について　ほか
●執行部の答弁	①令和７年度で計画が終了する。改修の進み具合については、中学校が早く、長寿命化計画等で工事をする場合は、設置率が低いところから改修等で対応していく。

《病院事業会計》

●質疑のあった項目	①市立病院の平均在院日数の状況について　ほか
●執行部の答弁	①急性期病院の役割を果たすため、地域の医療機関や介護施設等と連携し、回復期・慢性期の段階に入った患者の転院等を進めている。また、ロボット支援手術等の高度医療により、入院期間が短く、平均在院日数が短縮されている。

経済分科会（3/12・3/13）

《一般会計》

●質疑のあった項目	①海外産業連携推進事業費について
●執行部の答弁	①中海・宍道湖・大山圏域市長会と連携して取り組んでいる。インド・ケララ州については、経済連携覚書の更新を大きな目標とし、あわせてケララ州で開催される日本博「ジャパン・メラ」には、圏域全体で10社の参加を目指している。台湾については、台湾最大の食品見本市「フード台北」に圏域全体で４社出展する目標を掲げている。

建設環境分科会（3/12・3/13）

《一般会計》

●質疑のあった項目	①AIデマンドバスの導入について ②揖屋ふれあい広場の代替公園等整備経過について　ほか
●執行部の答弁	①AIデマンドバスは、現在４地区で運行しているが、令和７年度中に新しい地区で運行する予定はない。コミュニティバス運行地区において、令和７年度にワークショップなどを開催し、個々の地域における今後の最適な交通手段の在り方を検討していく予定である。 ②ヨリアイーナ東出雲の建設に伴い、揖屋ふれあい広場を支所、公民館の跡地に整備する計画で進んでいた。公園整備を行い、余った土地について、当初は売却を検討していたが、地元から公共的な活用をしてほしいとの要望があったことから、同時期に検討されていた幼保園も整備するという結論に至った。

《水道事業会計》

●質疑のあった項目	①老朽管の更新について　ほか
●執行部の答弁	①重要な給水拠点となる学校や総合病院等への管路の耐震化は、おおむね令和９年度までに全て完了する予定である。それ以外の老朽管については、重要度や過去の漏水履歴などを踏まえ、更新を進めていきたい。

令和７年１月臨時会・２月定例会の議員別表決結果

賛否の分かれたもの

議案等番号	案　件　名	委員会の審査結果	志翔の会						
			中村ひかり	村松　りえ	岩本　雅之	川島　光雅	石倉　徳章	石倉　茂美	南波　巖
市長提出議案									
議　第　3　号	松江市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　4　号	松江市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　6　号	松江市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　18　号	松江市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　45　号	令和６年度松江市一般会計補正予算（第10号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　54　号	令和７年度松江市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　55　号	令和７年度松江市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　57　号	令和７年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　58　号	令和７年度松江市介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　63　号	令和７年度松江市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　67　号	令和７年度松江市病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　68　号	松江市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　69　号	松江市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び松江市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第　74　号	財産の無償譲渡について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案									
議員提出議案第３号	高額療養費の自己負担引き上げ撤回を求める意見書について	委員会付託省略	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情									
陳情　第　65　号	選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情　第　66　号	選択的夫婦別姓制度導入に反対し現行の夫婦同姓制度を堅持する意見書提出を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	●	○

全会一致で可決・同意したもの（議第１号については１月臨時会提出議案）

市長提出議案

議案番号	案　件　名
議　第　1　号	令和６年度松江市一般会計補正予算（第９号）
議　第　2　号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議　第　5　号	松江市報酬費用弁償支給条例の一部改正について
議　第　7　号	松江市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
議　第　8　号	松江市旅費支給条例の一部改正について
議　第　9　号	松江市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議　第　10　号	松江市職員の退職手当に関する条例の一部改正について
議　第　11　号	松江市税賦課徴収条例等の一部改正について
議　第　12　号	松江市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
議　第　13　号	松江市選挙公報の発行に関する条例の一部改正について
議　第　14　号	松江市福祉医療費助成条例及び松江市子ども医療費助成条例の一部改正について
議　第　15　号	松江市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について
議　第　16　号	松江市玉湯総合福祉保健センターサン・エールたまゆの設置及び管理に関する条例の廃止について
議　第　17　号	松江市児童クラブ条例の一部改正について
議　第　19　号	松江市ふるさとづくり寄附条例の一部改正について
議　第　20　号	松江市健康の里大森の湯の設置及び管理に関する条例の廃止について
議　第　21　号	松江市宍道総合交流ターミナル施設の設置及び管理に関する条例の廃止について
議　第　22　号	松江市手数料徴収条例の一部改正について
議　第　23　号	松江市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について
議　第　24　号	松江市普通公園条例の一部改正について
議　第　25　号	松江市水道事業における布設工事監督者を配置する水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正について

議案番号	案　件　名
議　第　26　号	松江市下水道条例の一部改正について
議　第　27　号	松江市新庁舎建設（建築主体）工事の請負変更契約締結について
議　第　28　号	松江市新庁舎建設（電気設備）工事の請負変更契約締結について
議　第　29　号	松江市新庁舎建設（機械設備）工事の請負変更契約締結について
議　第　30　号	市道八幡大井線中海大橋補修耐震化工事（第２期）の請負契約締結について
議　第　31　号	財産の無償譲渡について
議　第　32　号	財産の無償譲渡について
議　第　33　号	財産の無償貸付けについて
議　第　34　号	財産の無償貸付けについて
議　第　35　号	財産の取得について
議　第　36　号	包括外部監査契約の締結について
議　第　37　号	松江市美保関辺地総合整備計画を定めることについて
議　第　38　号	松江市笠浦辺地総合整備計画を定めることについて
議　第　39　号	市道路線の認定について
議　第　40　号	指定管理者の指定について
議　第　41　号	指定管理者の指定について
議　第　42　号	指定管理者の指定について
議　第　43　号	指定管理者の指定について
議　第　44　号	指定管理者の指定について
議　第　46　号	令和６年度松江市国民健康保険事業特別会計補正予算（第４号）
議　第　47　号	令和６年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計補正予算（第２号）
議　第　48　号	令和６年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第３号）
議　第　49　号	令和６年度松江市介護保険事業特別会計補正予算（第４号）
議　第　50　号	令和６年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計補正予算（第１号）
議　第　51　号	令和６年度松江市水道事業会計補正予算（第３号）
議　第　52　号	令和６年度松江市下水道事業会計補正予算（第３号）
議　第　53　号	令和６年度松江市交通事業会計補正予算（第３号）
議　第　56　号	令和７年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算

この表は電子表決の集計結果に基づき作成しており、
賛否が分かれた議案等について結果をお知らせします。
※会派名は２月定例会時点のものです。

※QRコードを読み取っていただくと全議案の議員別賛否についてご覧いただけます。

○：賛成　●：反対　議：議長　除：除斥　空欄：欠席、不在等

賛否状況※																								議決結果
松政クラブ							明政会						民主ネットワーク				公明クラブ			共産党市議団		無会派	無会派	
小澤一竜	原田守	野々内誠	吉金隆	森脇勇人	三島良信	三島進	三島明	細木明美	米田ときこ	柳原治	森脇幸好	立脇通也	山根宏	森本秀歳	津森良治	川井弘光	海徳邦彦	太田哲	田中明子	たちばなふみ	舟木健治	錦織伸行	長谷川修二	
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
●	●	●	議	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	否決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	不採択
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議員の賛否の状況は、委員会の審査結果に対する賛否となります。※委員会付託を省略した議案は、原案に対する賛否となります。

市長提出議案

議案番号	案件名
議 第 59 号	令和７年度松江市企業団地事業特別会計予算
議 第 60 号	令和７年度松江市公園墓地事業特別会計予算
議 第 61 号	令和７年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算
議 第 62 号	令和７年度松江市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
議 第 64 号	令和７年度松江市下水道事業会計予算
議 第 65 号	令和７年度松江市ガス事業会計予算
議 第 66 号	令和７年度松江市交通事業会計予算
議 第 70 号	松江市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
議 第 71 号	財産の取得について
議 第 72 号	松江市新庁舎放射線防護対策等（機械設備）工事の請負契約締結について
議 第 73 号	松江市新庁舎放射線防護対策等（電気設備）工事の請負契約締結について
同意 第 1 号	松江市教育委員会の委員任命について

議員提出議案

議案番号	案件名
議員提出議案第１号	松江市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について
議員提出議案第２号	地方自治法施行令に定める少額随意契約の限度額の見直しを求める意見書について

その他

議案番号	案件名
諮問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の通知について

陳情審査結果　不採択となったもの

請願・陳情についてはこちら
（松江市議会ホームページへ）

陳情第65号	選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての陳情	（陳情者）新日本婦人の会松江支部　代表者　神門　喜久子
	（委員の意見：総務委員会） ・旧姓使用できる事例が多くなっており、また国民世論が流動化してきている。国が既に議論を進めてきており、国において、結論を導いてもらいたいので、不採択。 ・国の家族制度がどうなるかという根幹にかかわる問題であり、慎重に対応する必要がある。旧姓使用の拡大をやってきており、選択的夫婦別姓制度導入に反対する意見も多く、司法でも国会で判断されるべきと示されていることから、不採択。 ・現在、国で議論されている状況であり、旧姓併記が可能なものが拡大されている。司法も国において判断すべきものとされていることに加え、こどもへの影響がないと言えないことから、不採択。	
陳情第66号	選択的夫婦別姓制度導入に反対し現行の夫婦同姓制度を堅持する意見書提出を求める陳情	（陳情者）市民に開かれた松江市議会を応援する会　古志　千樹
	（委員の意見：総務委員会） ・国会で判断されるべきものとの判示があることから、不採択。	

2月定例会 一般質問

市政のここが聞きたい　24人の議員が質問

2月定例会では、3月3日、4日、5日の3日間にわたり24人が一般質問を行いました。
紙面の限りがあるため質問した議員本人が通告した項目の中から一つを選び、要旨をまとめたものを掲載しています。なお、写真右のQRコードを読み取っていただくと当日の映像をご覧いただけます。
※会派名は2月定例会時点のものです。

森脇　勇人（もりわき　はやと）
（松政クラブ）

会派代表質問

●新年度事業・予算について
●まちづくり計画について
●一畑電車、JRの利用促進
●介護人材への支援
●事業進捗の考え方について
●地産地消の考え
●大阪・関西万博への対応

質問　骨格ながら過去最高額の予算となった要因は

令和6年あたりから財政調整基金の切り崩しで予算が編成されている。扶助費、物件費、普通建設事業費、人件費も含め、それぞれの主な要因を伺う。また、今後の政策予算は確保できるのか、どのような予算を当てにするのか伺う。

回答　扶助費、物件費、普通建設事業が増加

対前年度比で、扶助費は調整給付金の不足額給付などにより30.7億円（11.7％）、物件費は14.5億円（9.5％）、普通建設事業費は新庁舎2期工事の完成、3期工事着手などにより12.5億円（9.1％）増加している。結果、歳出予算総額では65.8億円の増額となり、財政調整基金と減債基金を合わせて22.1億円の取り崩しにより対応した。予算の執行段階においては効果的かつ効率的な支出に努めるとともに、有利な財源を活用し、決算では剰余金を生み出し基金への積み戻しを図っていきたい。

川島　光雅（かわしま　みつまさ）
（志翔の会）

会派代表質問

●平成の合併から現在までの市政20年の総括的な運営
●コロナウイルス感染症収束後の対応
●市政運営
●一般会計予算
●公共交通の維持と取り組み
●家庭のあり方
●防犯カメラの設置

質問　合併後、公共施設閉鎖等により旧町村地域の活力が失われているのでは

合併後施設運営が上手くいかず、かつての賑わい拠点が公共施設適正化の下で閉鎖・譲渡され、その役割が衰退し活力源を失った。市の関わり方や運営方針が以前より消極的になったのではないか。

回答　施設の機能統合や複合化、民間事業者による有効活用など検討する

施設の機能統合や複合化、民間事業者のノウハウや創意工夫で施設の魅力を最大化し、地域振興、活性化の拠点として有効活用することを含め検討したい。島根町のマリンパーク多古鼻は公募型プロポーザルで令和7年4月1日からマリンアクティビティーや温浴機能を持つ体験型宿泊施設で運営される。また、宍道町の大森の湯といろり茶屋は長時間滞在型の日帰り温泉施設に再生され令和8年度中にリニューアルオープンする予定である。

森脇　幸好（もりわき　ゆきよし）
（明政会）

会派代表質問

●市長の4年間を振り返って
●二期目に向かわれる決意について
●市長のまちづくりについて
●令和7年度予算編成について
●こども・子育て政策について
●事務処理の改善について
●線引き制度廃止について
●中学校の35人学級等について他1件

質問　国宝松江城を含む城下町・松江市全体のまちづくりの考え方を伺う

松江市には堀尾吉晴公、松平不昧公などの「人」、国宝松江城の「宝」、城を含め広い範囲の「風情」がある。城を含む城下町そして松江市全体のまちづくりをどのように考えているか。

回答　風情ある景観は松江市のシンボルであり、次世代に伝えていく責務がある

国宝松江城と城下町の風情ある景観は松江市のシンボルであり、市民の皆様が故郷に誇りと愛着を感じ続けられるよう守り、次世代に伝えていくのが責務である。現行の景観規制は、「松江らしい景観」を保全・創出するためには十分と言えないことから見直しを進めている。引き続き歴史・文化を大切にした地域色豊かな固有の景観を守り、市民の共有財産として後世に伝えるべく、「松江らしい景観」を生かしたまちづくりに取り組んでいく。

森本　秀歳（もりもと　ひでとし）
（民主ネットワーク）

会派代表質問

●平成の合併の検証
●市内製造事業所の現場視察
●再生可能エネルギー発電施設の建設を規制する条例及び景観条例の制定
●農地の保全
●小泉八雲・セツのドラマに関して

質問　パブリックコメントの受け止めは

再エネ条例に関するパブリックコメントが令和6年11月26日から12月25日まで募集され、172件の意見が寄せられた。このパブリックコメントの受け止めについて伺う。また、条例の見直しに当たっては、制限する区域、配慮の必要な区域などを明記すべきではないか。

回答　関心が高まっているものと受け止めており、意見を考慮し条例を速やかに制定する

全国でトラブル事案が発生していることから、関心が高くなっているものと受け止めている。いただいた意見を考慮し、条例を速やかに策定する。現在市内で進んでいる事業については、条例施行前においても条例案の内容と同等の効果が得られるよう働きかけていく。設置に際しては、配慮が必要な区域として定め、事業者に地元の合意形成を求める措置を適用できないか検討していく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

田中　明子（たなか　あきこ）
（公明クラブ）

- 4年間を振り返っての感想
- 令和7年度予算編成について
- **子育て支援の充実について**
- 再生可能エネルギーについて
- 市民への平和教育について

会派代表質問

質問　産後ドゥーラなど訪問支援員による子育て世帯訪問支援事業の取り組みを伺う

産後の母親を支える存在として創設された産後ドゥーラという職種は、一時的な負担解消だけでなく支援対象者が自立して生活ができるようになるために重要な役目であると考えるが、本市の実情を伺う。

回答　産後ドゥーラの資格保有者はいないが、他の事業により支援を実施している

産後は母親の生活や心身が大きく変化することから、家事や育児などの直接的な支援を行うことは重要である。本市において、産後ドゥーラの資格認定された人はいないが、産前産後の家事や育児の直接的な支援について、本市から民間事業所への委託による訪問型子育てサポート事業及び子育て世帯・ヤングケアラー等訪問支援事業という形で実施している。これらを通じ、家事や育児を直接支援することで負担軽減を図り、虐待防止につなげていく。

石倉　徳章（いしくら　のりふみ）
（志翔の会）

- 石破内閣の政策（令和の日本列島改造の5本柱）についての見解
- **今後の市政運営について**
- 周辺地域の振興について

質問　公共施設適正化により廃止等となった施設の利用目的の変更について

公共施設適正化により廃止等になった施設は管理者が誰に変わろうと、今までと同様な施設利用であれば、いずれ行き詰まることから、利用目的の変更が重要と考える。災害時の避難場所や災害避難物資倉庫、高齢者の日常の集いや憩いの場としての活用を提案する。

回答　災害時の利用は安全性を確認のうえ応相談。その他の利用相談には積極的に応えていく

「指定一般避難所」は安全性、収容人数、ライフラインの使用可否に基づき指定している。地域から「一時避難所」としての利用要望があれば安全性を確認のうえ相談に応じる。また、高齢者の日常の集いや憩いの場としての利用について要望があれば、当初の設置目的に捉われず有効利活用していただけるよう積極的に応えていく。

三島　進（みしま　すすむ）
（松政クラブ）

- 学力について
- 都市計画税について
- 人口減少に伴う少子化について
- **線引き制度廃止（撤廃）について**

質問　関係地区に通知し、意見を聞いたり現状を話すべきではないか

土地利用制度の検討について、既に出雲市よりも遅れている。出雲市は企業誘致も活発にされていて、工業団地、商業団地のほか誘致企業団地もつくられた。松江市には一つも積極性がない。将来を見据えた物の考え方がないということをつくづく感じて、残念に思っている。関係地区に通知し、意見を聞いたり現状を話すべきではないか。

回答　改めて地域ごとに意見をいただく場を設ける

今後、詳細な制度設計を進め、制度案の作成に当たっては、改めて地域ごとに市民の皆様の意見をいただく場を設けながら、丁寧に進めていきたい。

米田　ときこ（よねだ）
（明政会）

- **加齢性難聴支援について**
- マイナンバーカードの健康保険証（マイナ保険証）利用について

質問　高齢者のQOL向上と介護予防から補聴器交付補助金制度導入の考えは

加齢性難聴の疑いを含む難聴者の現状について、高齢者のQOL向上と介護予防、特に認知症リスクの観点から補聴器交付補助金制度を導入する考えはないか。

回答　他の自治体の事例などを参考に検討していく

加齢性難聴の疑いを含む難聴者の方の数は把握できていないが、要介護認定を受けている1万1,836人中、認定調査時に「大きな声なら聞き取れる」及び「ほとんど聞こえない」人が1,138人で、このうち障がい者手帳所持者は359人である。加齢性難聴は聴力低下を自覚しづらいことから、まずは早期発見や適切な受診の重要性、補聴器の情報等について周知啓発に力を入れている。補聴器交付補助金制度の導入については、他自治体の事例などを参考に検討する。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

山根　宏（やまね　ひろし）
（民主ネットワーク）

●終活におけるエンディングノート活用促進に向けて
●温泉ゆったり産後ケア

質問　松江市の終活への取り組みにおいて課題は何か伺う

松江市における終活への取り組みにおいて、課題は何か伺う。当事者だけではなく、家族に手に取ってもらえる工夫が必要ではないか。

回答　エンディングノートの役割や重要性が浸透していないことが課題であり、普及啓発が重要

将来病気になった場合や人生の最期を迎えるにあたっては、自身の希望する医療やケア、また葬儀・埋葬方法をエンディングノートを活用して家族や医療・介護関係者と共有することが重要である。しかしながら、市が行ったアンケート結果からは自身の思いが共有できていない実態があり、エンディングノートの持つ役割や重要性が十分市民に浸透しているとは言えないということが課題である。また、当事者の方を支援する家族への普及啓発が重要であると認識している。

太田　哲（おおた　さとし）
（公明クラブ）

●松江市の物価高騰対策について
●インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の感染状況について
●バス停のベンチ、屋根の設置について
●ひきこもり地域支援センター設置について
●SNS被害について

質問　バス停のベンチの設置費用および城北小学校前のバス停の設置予定を伺う

バスの運転手不足による減便で淞北台ロータリーに上がるバスが少なくなった。黒田町方面に行くには淞北台の坂を下りて、城北小学校前のバス停で待たなければならない。高齢者の方から「以前はベンチがあったが無くなっている」と言われ、松江市交通局に問い合わせると「老朽化しており、危険なので撤去した」との回答であった。バス停のベンチの設置費用はいくらかかるのか。また城北小学校前のバス停のベンチの設置予定を伺う。

回答　1基当たりの設置費用は約20万円。令和6年度中に設置する予定である

バス停のベンチの設置は歩道の幅員、埋設物がないかなど、道路管理者が定めた設置要件を満たす必要がある。1基あたりの設置費用は約20万円で、城北小学校前のバス停には令和6年度中に設置予定である。

野々内　誠（ののうち　まこと）
（松政クラブ）

●松江市総合計画について
●ホーランエンヤの準備状況について
●公共交通の環境整備について
●総合体育館周辺エリア未来ビジョンについて

質問　総合計画は、想定するビジョンを明らかにし、具体的イメージがわく表現であるべき

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」は、令和4年度から11年度までの8年間が計画期間だが、わずか3年前の策定時の計画文面を現在読むと、非常に簡単でこの表現でよいか疑問を持つ。本市の最上位の計画であり、想定ビジョンから具体的にイメージがわく表現であるべきと考えるが、所見を伺う。

回答　総合計画や実施計画と具体的な事業が関連付けて認識されるよう説明に努める

総合計画の冊子は、イラストをふんだんに使用するなど内容がわかりやすく伝わるよう工夫した。別冊子の実施計画は、総合計画の具体的な事業の進捗状況や課題等を記載し実施計画と共有している。これらの冊子と具体的な事業の関連性や整合性が認識されていない点について今後改めていきたい。

岩本　雅之（いわもと　まさゆき）
（志翔の会）

●5つの柱の「これから」について
●公民連携について

質問　今後、公民連携に対応する窓口を強化すべきだと思うがいかがか

今後、様々な施策を連動させるために、公民連携に対応する窓口を強化すべきだと思うがいかがか。

回答　2つのプラットフォームを創設し、全庁的に公民連携を進めていきたい

持続可能で良質な市民サービスの提供を目指すには、公民連携の取り組みを幅広い分野で積極的に行う必要がある。そのためには、具体的な案件を吸い上げながら、アイデアを考えられる人材の育成もできるプラットフォームをつくっていきたい。加えて、その案件を実現できる民間パートナーを見つけることを目的に、公と民が対話する場となるプラットフォームを創設することも必要だと考えている。この2つのプラットフォームを創設し、市役所内の各部における窓口を強化するとともに、部局間の調整を政策部が中心で担うことで、全庁的に公民連携を進めていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

錦織（にしこおり）　伸行（のぶゆき）
（会派に属しない議員）

- 松江市にとって千載一遇ともいえる追い風のなかの新年度の観光行政について
- 再生可能エネルギー施設について
- 松江城の世界文化遺産登録について
- **殿町の準タワーマンションに関連して**

質問　「まつえ風景会議」、「松江城周辺町内会」等の市民団体に対する所感は

多くの市民団体がそれぞれの知見をもとに、このことに対する世論を作っていった。そうしたことへの所感をを伺う。

回答　松江の価値を次世代へ引き継ぐことを願っての活動と認識している

松江の城下町、水郷、水都としての価値を次世代へ引き継ぐことを願って、要望や申し入れの活動をされていたものと認識している。現在進めている松江城からの眺望基準を見直す計画案の参考にさせていただいた。また、建物等の周辺の建築物等景観の見直しなどについても、住民説明会やパブリックコメントでいただいた意見等を参考にしていきたい。

村松（むらまつ）　りえ
（志翔の会）

- 再生可能エネルギー発電事業の適正な設置及び管理に関する条例（仮称）
- **いじめ防止条例**

質問　いじめ防止条例を制定することについて、松江市の所見を伺う

いじめは被害者と加害者だけの問題ではない。被害者を守るため、またこどもが加害者にならないために、学校、保護者、教育委員会、地域社会が力を合わせて取り組まなければならない。そのために、いじめ防止条例の制定が、各地で進められている。出雲市でも令和２年４月に制定されている。いじめ防止条例を制定することについて、松江市の所見を伺う。

回答　いじめ防止条例を制定することは現段階で考えていない

いじめ防止条例を現段階で制定することは考えていないが、今後、条例制定の必要性が出てくれば検討する。

中村（なかむら）　ひかり
（志翔の会）

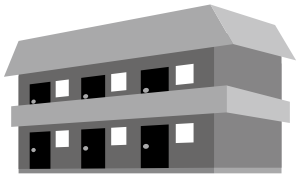
- 職人商店街
- **空き家等対策**
- 母子生活支援

質問　市営住宅における空室の利活用を検討できないか

空き家が地域資源であるように、公営住宅の空室もまた地域資源であり、使える場所、使いたい方がおられるのであれば、活用いただいたほうが地域活性化につながると思う。地域の課題解決につなげる試みを検討できないか。

回答　先進事例等も参考にしながら積極的に研究していきたい

市営住宅の空室については一定の条件の下、国の承認を得て、目的外の用途に使用することが認められている。島根県や全国での先進事例等も参考にしながら積極的に研究していきたい。



原田（はらだ）　守（まもる）
（松政クラブ）

- 「松江城からの眺望基準の見直し」の正しい基準はどこにあるのかについて
- 「視点場」の設定から見た島根県市町村振興センターについて
- **宍道湖大橋を「視点場」に加えることについて**

質問　宍道湖大橋を「視点場」とする私の要望について「市長」に見解を伺う

この度の高層マンションの建設について市民の皆様からご意見を伺う中、マンション以上にその存在を残念に感じる建物がある。それは市町村振興センターであり、この建物により松江城の屋根しか見えなくなった。宍道湖大橋を「視点場」として、この建物にこそ高さ制限を設け、再び松江城天守が見える様にしてほしい。

回答　選定基準の目安からは、視点場の候補には至らないと感じている

「視点場」の選定基準に松江城の姿が３分の１以上見えることが目安として決められており、宍道湖大橋は視点場の候補には至らないと感じている。今後候補地の現地に出向いて松江城の見え方を確認し、規制する高さや範囲について検討する予定としている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

海徳（かいとく）　邦彦（くにひこ）
（公明クラブ）

- 高齢者見守りシールについて
- **ごみ集積施設整備事業補助金の代理払い制度の導入について**
- 家庭系ごみ収集業務について

質問　ごみ集積施設整備補助金に代理払い制度を導入し、市民等の事務負担の軽減を

ごみ集積施設整備事業補助金に代理払い制度を導入し、自治会等の事務負担の軽減を図るべきと考えるが、見解を伺う。

回答　交付要綱を見直し、完了前に補助金を交付する概算払いを導入する

補助金は、補助事業を完了した後において交付することが原則であるが、松江市補助金交付規則において、特に必要があると認める時は、補助事業等の完了前に補助金等を全部または一部を交付することができると規定がある。このことから、現行の松江市ごみ集積施設整備事業補助金交付要綱を見直し、施工業者からの請求書をもって補助金交付する概算払いを導入し、申請者の費用準備についての負担軽減を図りたい。

津森（つもり）　良治（りょうじ）
（民主ネットワーク）

- **松江市ガス局の民営化について**
- 松江市立病院の現状について
- 共助への理解を進め、支え合う地域社会をめざして

質問　民間譲渡への見極め作業はどのようになされるのか

選定委員会は、公募型プロポーザル方式により譲渡先候補者を選定することになる。その後、本市の優先交渉権者が決定されると伺っている。お客様にとっては引き続き安心してお使いいただけること、地域経済の発展につながる事業展開がなされること、本市にとっては市民サービスの向上につながること、これら三方よしの民間譲渡の実現に向けて、その判断はどのようになされるのか。

回答　選定委員会が行ったうえ、最優秀提案者が選定される

本市は、選定委員会が公募要件を満たす提案を行った応募者の中から、優先交渉権者を決定する。これまで考慮されてきた事項との相違は生じないものと考えている。選定委員には、応募者からのプレゼンテーションに向けて事前に提案書類を審査していただいているので、選定方式のメリットは機能している。

たちばな　ふみ
（共産党市議団）

- ジェンダー平等
- **学校トイレの洋式化について**
- 校則や学校のきまり、子どもの権利尊重を
- 境港の軍事利用許されない
- 原発避難計画の実効性

質問　公共施設や学校トイレの生理用品配布に防災備蓄品を活用し持続可能な取り組みを

公共施設での生理用品配布について、連携団体からの入荷が止まるなどし、市民から残念だとの声がある。また、学校トイレへ生理用品設置がはじまったが学校１か所だけでなく安価な方法で多数の個室へ設置してほしいとの声がある。防災備蓄されている生理用品は３年で更新ときく。更新時に無償配布用に活用し、市独自の持続可能な取り組みを期待するがどうか。

回答　更新時に無償配布するなど有効に活用する

備蓄している生理用品は、保管状態を確認した上で配布が可能なものについては、これまでも島根大学や県立大学などに無償配布して活用を図っている。学校トイレでの活用についても有効活用を図っていきたい。

長谷川（はせがわ）　修二（しゅうじ）
（会派に属しない議員）

- **生理用品の無償配置について**
- 社会の基盤を支える介護事業について
- 体育館の空調整備について
- 院内学級や特別支援学級について
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について
- 温暖化の取り組みとLED化の推進について　他２件

質問　女子トイレへの生理用品の無償配置について、今後の方針はいかがか

市内の小・中学校、皆美が丘女子高校の女子トイレへの生理用品の無償配置について、今後の方針を伺う。

回答　令和７年度は全ての市立学校において生理用品の無償配置を行う

モデル校での実証結果や児童生徒へのアンケートの結果は、回答のあった児童生徒から「安心できる」、「継続してほしい」などの記述が多くあり満足度が高いことが分かった。また「友達から貸してとお願いされることが減ってよかった」などの意見も把握できた。令和７年度は、今回のモデル校と同様の考え方で、全ての市立学校において生理用品の無償配置を行い、その上で報告書や児童生徒のアンケートによって活用状況を把握し、今後の適正な配置の在り方を検討する。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

舟木　健治（ふなき　けんじ）
（共産党市議団）

- 福祉避難所の拡充について
- **訪問介護事業所への支援策について**

質問　基本報酬引き下げの中、訪問介護事業所の経営実態を把握し適切な支援を

島根県が行った訪問介護の基本報酬引き下げによる影響調査では、県内216カ所の事業所のうち少なくとも4割強が令和6年度決算で赤字を見込んでいる。松江市でも訪問介護事業者の経営実態を把握し、島根県とも協力して支援策を進める考えはないか、市の見解を伺う。

回答　市独自の調査は考えていないが、事業所を訪問し経営の把握に努め、県とも協議する

県が行った調査のうち、本市分の回答データの提供を受けている。回答のあった43事業所のうち、黒字見込みが23、赤字見込みが18、不明が2となっている。令和5年度の黒字から赤字見込みに転じた事業所は5カ所で、報酬改定による影響は限定的と考える。市独自の調査は考えていないが、事業所訪問の際に経営の把握に努めるとともに、県とも意見交換を行い、必要な支援について協議していきたい。

三島　明（みしま　あきら）
（明政会）

- 松江市の国外の友好都市
- 竹島の日に関すること
- 公共施設の集約化・複合化に伴う除却事業への地方債の活用
- 新築学校施設への木材使用
- **こどもたちのスポーツ環境**

質問　ナイター設備がある小中学校はどの程度あるのか。また今後の整備計画は

将来、学校部活動及び新たな地域クラブ活動の受け皿ともなるべきクラブチームの活動が盛んになっているが、活動場所となる学校施設、とりわけ校庭は環境が追いついていないと聞く。照明設備が整っていない校庭もあり、暗くなってからの使用ができないとのことだが、市内の小中学校で校庭にナイター設備がある学校はどの程度あるのか。また今後の整備計画は。

回答　19校あり、今後の整備計画はないが、必要に応じて設置を検討する

ナイター設備を有する学校は、小学校11校、中学校6校、義務教育学校2校の、合計19校であり、現段階において今後の整備計画はない。松江市中学校部活動の在り方検討委員会において今後の方針が具体化していく中で、必要に応じて設置を検討することとしている。

小澤　一竜（おざわ　いちりゅう）
（松政クラブ）

- **中小企業・小規模事業者支援の周知について**
- ばけばけ効果の最大化に向けて
- 職人商店街について
- MATSUE起業エコシステムについて
- アフターコロナで再始動した海外との連携について　他1件

質問　国・県・市の支援情報を一元化し、提供する仕掛けが必要ではないか

中小企業・小規模事業者への支援について、国・県・市がそれぞれ多様なメニューを用意しているが、事業者目線に立った時、それぞれのニーズにあった情報提供ができているか支援情報を一元化し、ワンストップで、またプッシュ型で提供する仕掛けが必要ではないか。

回答　市ホームページ、市報、公式SNSなどを通じて情報発信に努める

ワンストップ相談窓口である島根県よろず支援拠点をはじめ、商工会議所、商工会などの商工団体を通じ、支援制度の周知に努めている。本市としても国・県・市等の支援制度などについて、市ホームページや市報、公式SNS、商工団体等の会報誌などを通じて情報発信に引き続き努めていきたい。

細木　明美（ほそぎ　あけみ）
（明政会）

- 市長の政治姿勢について
- まちづくり・地域振興について
- **松江と出雲の今に思うこと**
- 松江市のまちづくりと歴史文化について

質問　松江市と出雲市の現在の状況、これからの姿について市長の見解を伺う

出雲市と松江市の人口差は縮まってきており、このままでは近い将来に逆転されてしまう。観光地としての人気や、魅力的な商業施設や宿泊施設、飲食店の新規出店も出雲市のほうが多いように思う。松江市は若者からも女性からも「選ばれるまち松江」を目指して進んできたはずだが、松江市と出雲市の現在のこの状況、これからの姿について市長の見解を伺う。

回答　住む場所・働く場所として選ばれるまちを目指していく

出雲市は「線引き制度」は採用せず、郊外に商業施設や住宅の立地が分散する中で、商業地の地価も本市に比べて低い。本市のまちづくりにおいては民間事業者の視点を取り入れ、住む場所・働く場所として選ばれる魅力的なまちを目指していきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

宍道湖・中海問題等対策特別委員会（2/13開催）

～白潟地区都市再生整備計画について～

都市整備部より、第１期計画より計画区域面積が４倍余り拡大し、そこでの新たな事業は、白潟公園の社会実験や計画策定としているが、必要に応じて計画変更し、事業の追加を検討する、などの説明がありました。

～末次本町から東本町の取り組みについて～

都市整備部より、今年度から第１段階として、大橋川沿いの地権者、住民、商店の方と将来の治水計画について意見交換を行い、大橋川沿川対策委員会で堤防形状の方針を決め、第２段階として、背後地のまちづくり方針を決めるとの説明がありました。

3月23日(日) 水辺ステージ完成記念イベントの様子

新庁舎建設特別委員会（2/19開催）

～新庁舎整備事業と令和７年度事業計画について～

財政部より「2期棟の鉄骨の組み立て工事を始めている。鉄骨が屋上まで組み上がれば、屋根や外装工事、内装工事を行い、予定どおり令和７年10月末に２期棟の建物が完成する。また、令和７年度には新庁舎第３期工事として、来庁者の動線とは離れた敷地に車庫や文書庫を建築する。」との説明がありました。

委員からは、建物完成後の移転にかかる費用について質疑があり、「移転に伴う廃棄物の量の概算に基づき、見積もりを取り始めている。」との答弁がありました。

また、県事業の工期との関係について質疑があり、「四十間堀川放水路整備事業と新庁舎工事とは密接した関係にあり、一日も早く本市の工事を進め、その後速やかに島根県に事業に取り組んでいただけるよう求めていく」との答弁がありました。

まちづくり対策特別委員会（2/17開催）

～総合体育館周辺エリア未来ビジョンについて～

まちづくり部より、市民アンケートや外部委員会での検討状況について説明がありました。委員からは「スポーツ施設は具体的に何を充実してほしいのか」との質疑に対し「アーバンスポーツ施設の設置要望がある。今後具体的に検討する」との答弁がありました。今後について、来年度は民間事業者からサウンディング調査を行い１年かけて具体的に何をするか検討し、設計工事は2028年度を目標にしていると説明がありました。

～新たな土地利用制度の検討について～

まちづくり部より、市民説明会、シンポジウム、関係団体との意見交換を踏まえた今後の内容や方向性について説明がありました。委員からは、土地利用ルールの方針に関し「下水道のないエリアは立地を制限するとあるが、制限をつけるのではなく立地に条件をつければよいのでは」との質疑に対し「ある程度柔軟性のある制度も考えていく必要がある」と答弁がありました。

島根原子力発電対策特別委員会（2/21開催）

～島根原子力発電所の状況について～

中国電力から「2月20日に発生した、原子炉格納容器の水素と酸素の濃度を監視する計器の一部に不具合が発生した件について」、「島根２号機の再稼働に向けた対応について」、「10月に実施した現場シーケンス訓練及び大規模損壊訓練について」、「再稼働までの工程について」、「12月12日に発生した運転上の制限の逸脱に係る判断の訂正の事象について」、「島根２号機の営業運転再開の対応について」説明がありました。

委員からは、今後の訓練についての質疑があり、中国電力より「現場シーケンス訓練、大規模損壊訓練と同様な訓練を当直のチーム15班に対して実施することになる。事前の座学や実習についても定期的に毎年実施していく。また、大規模な訓練だけではなく、多くの可搬設備、安全設備を設置しており、使いこなしていくことが最も大切であるため、それに対する訓練も継続的に取り組んでいく」との答弁がありました。

また、不具合のあった設備についての質疑に対し、「シビアアクシデントにも対応できるように、新たに設置した設備であり、再稼働前の全体の点検で異常がないことを確認し、また定期的に異常がないことを確認する設備である」との答弁がありました。

編集後記

市議会だよりの担当になり、４年目が終わりました。市民の方に、少しでも分かりやすくお伝えするためにはどうしたらいいか、委員会では毎回意見を出し合い、工夫を凝らしてきました。特に、この４年間で、一般質問の映像をご覧いただくためのQRコードの掲載や議員別表決結果の掲載、イラストや写真の充実に努めてまいりましたが、実際に読んでいただき、どのように感じていただけましたでしょうか。

次号からは、編集する委員が代わることになりますが、今後もお手にとっていただけると喜びます。ありがとうございました。

議会広報等委員会 副委員長　中村 ひかり

「市議会だより」への皆さんのご意見をお寄せください

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等委員会（松江市議会事務局）
電話（0852）55-5053　ファックス（0852）55-5533
議会事務局メールアドレス　giji@city.matsue.lg.jp
松江市議会